

度である。今後は、市民の皆様への周知に努めるとともに、土曜開庁の定着状況及びその後の住民ニーズを見極めたい。えで、検討していきたい。

(総合政策部行政改革推進室)

○その他の質問項目

「環境行政について」ほか

利根新橋建設促進

について

戸井田 邦夫 議員

問

本市と群馬県を結ぶ刀水橋は、朝の通勤時に交通渋滞が激しいため、新橋の建設が熱望されているが、
①新橋建設計画の進捗よく状況は②建設予算の確保は③着工時期は、それぞれ伺いたい。

答

①平成十五年度に群馬・埼玉地域連携道路網検討会が発足し、国の補助事業として両県による三年間の調査が実施された。調査の内容は、平成十五年度は架橋位置及びアプローチルート等の検討等、平成十六年度は道路軸の影響調査や整備手法の検討、本年度は整備に向けた対応策と事業化方策の検討及び整備計画案の取りまとめである。②③建設予算、着工時期については、この調査の結果を待つところであるが、利根川新橋の実現は、

本市の発展に大きく寄与するものであり、引き続き利根川新橋建設促進期成同盟会を通じ、関係市町村と連携し、整備促進に向け、関係機関に働きかけていきたい。

(総合政策部企画課)

○その他の質問項目

「運動公園について」ほか

旧妻沼地区への健康器具の設置

について

飯塚 和子 議員

問

高齢者の運動は、介護予防につながる。旧熊谷地区には温水プールがあり、旧大里地区には健康スポーツセンターがあるが、旧妻沼地区には、そのような施設がない。そこで、旧妻沼町の施設内に、体を鍛えられる健康器具を設置できないか伺いたい。

答

本市では、熊谷健康づくり計画（健康熊谷二十一プラン）を策定し、疾病の発生を予防する市民主体の一次予防を重点に、健康づくり運動を推進している。現在、旧妻沼地区でも、公民館等において、若返り体操教室や転倒予防教室を開催し、転ばない、骨折しない体づくりに取り組んでいる。市内には、旧大里地区の健康スポーツセンターや彩の国くまがやドームの中にもバイクやランニングマシン等の器具を備えたトレーニングルームがあり、利用者は目的に合わせたトレーニングを行っている。今後、健康器具の設置については、市民ニーズを踏まえながら検討していきたい。

(市民部健康づくり課)

○その他の質問項目

「妻沼行政センター及び大里行政センターの空きスペースの有効利用について」

受動喫煙防止の対策・強化について

大山 美智子 議員

問

多くの自治体で学校敷地内や公共施設での禁煙に取り組み始めている。深谷市では、学校、市庁舎など

の公共施設はすべて禁煙である。また、行田市では学校施設内にポイ捨て禁止条例を制定するなど、積極的に対処しているが、学校敷地内や公共施設での禁煙は、期限を設けて実施できるのか伺いたい。



市庁舎内の分煙機

答

健康づくり課及び保健センターが窓口となり、広報や健康相談を行い、喫煙や受動喫煙による健康への影響について、また、施設における禁煙・分煙の推進について、啓発と普及を図っていく。本市の教育施設では、七校の小・中学校が全面禁煙であり、他のすべての学校では、喫煙室や分煙コーナーを設けている。公民館では二十七施設中、十二館が施設内禁煙を実施し、

十三館が分煙を実施しているが、二館では対策を実施していない。今後は学校敷地内における全面禁煙を検討し、また、公共施設や公用車においても禁煙を推進し、分煙の徹底を図っていきたい。

(市民部健康づくり課)

○その他の質問項目

「小規模修繕登録制度の充実について」ほか

合併後の市政運営

について

高橋 初 議員

問

①合併の理念として「住民サービスの後退はさせない」という前提は守れるのか②旧妻沼・大里で実施していた給食の自校調理方式を継続すべきではないか③旧熊谷の学校では一部の教室で扇風機を設置済みだが、旧妻沼・大里の学校に設置する予定はあるのか、それぞれ伺いたい。

答

①合併前の一市二町では、それぞれの地域の実情に応じたサービスを実施してきたため、その内容やそれに伴う負担には差異があり、合併により、これが平準化されたため、一部の事業が住民の負担増になる状況もあった。しかしながら、厳しい財政状況